# ビジネス交流拠点「ANCHOR　KOBE(アンカー神戸)」4周年

企業が交流しながらイノベーション（技術革新）を目指すビジネス交流拠点「ANCHOR　KOBE（アンカー神戸）」（神戸市中央区加納町４）が、開設から４周年を迎えた。地元の大手、中小企業からスタートアップ（新興企業）、大学、行政、個人事業主など270近い会員が入会しており、新規事業や協業・共創、起業などの成果が生まれている。神戸空港国際化を受け、海外との連携も強化。５年目、新たな挑戦が始まっている。

# 海外と連携 新たな挑戦

## 神戸空港の国際化受け
### 韓国などの施設、支援組織と

2021年4月、神戸市が開設。神戸新聞社とトーマツが運営している。ビジネスセミナーやイベントなどのほか、企業を成長させるソフト事業などを展開。神戸商工会議所、神戸経済同友会、日本政策金融公庫など外部機関の力も借りながら、神戸、兵庫経済の底上げを図っている。

事業を生み出すインキュベーションマネジャーやメンター（助言者）、会員同士をつなぐコミュニティマネジャーを配置。ヒアリングなどを通し、イノベーションを生み出しそうな企業・個人をマッチング。協業相手の出会いの場としても高い評価を受けている。

25年4月、神戸空港に国際チャーター便が就航し、海外との距離が近くなったため、海外連携を強化。今年は主に、韓国や台湾に注力する方針で、コワーキング施設やベンチャーキャピタルなどのスタートアップ支援組織などと協議を進めている。

5月には海外イベントを集中開催する「神戸グローバルウィーク」を展開。アフリカ、スウェーデン、ラトビアなどのスタートアップが事業プランを発表し、神戸の関係者との結びつきを深めた。アンカーでは、今後も同様の海外イベントを継続していく。

5月に開催された「神戸グローバルウィーク」の日台交流イベントで、談笑する神戸と台湾のビジネス関係者＝アンカー神戸

## 法人向け内覧会 来月18日に開催
### 会員募集中、個人も

阪急神戸三宮駅直結の神戸三宮阪急ビル15階に整備。営業時間は平日が午前7時～午後10時、土曜祝日が午前10時～午後6時。日曜休み。☎078・325・1414

ビジネス交流が目的で、オフィス利用、登記はできない。入会には審査がある。月額会費は法人正会員が2万7500円。スタートアップ会員1万1千円（いずれも税込み、入会金別途必要）。ほか、法人特別、個人正会員、学生、朝活、夜間・土曜祝日のプランがある。7月18日午前10時からは、法人向けの内覧会があり、利用体験もできる。

非会員でも借りられるイベントスペースは100人超まで収容でき、セミナー、発表会のほか、展示会、撮影などで利用可能。全館貸切、休館日の開催などにも対応する。会議室も6室（12～4席）あり、人数、場面に応じた利用が可能。詳細は公式サイトから。

▲アンカー神戸公式サイトはこちらから

## 台湾の施設と基本合意書結ぶ

アンカー神戸は台湾・嘉義県にある共創施設「嘉義文化科技創新基地」と施設間連携の基本合意書（MOU）を結んだ。アンカーは東京や大阪などとの施設間連携を結んでいるが、海外とは初めて。

### 海外とは初 会員交流、マッチング支援

嘉義県は台湾中南部の農業県。同基地近くでは半導体受託生産大手、台湾積体電路製造（TSMC）の新工場建設が進んでおり、同基地は嘉義県が開設した。台湾スタートアップの関西進出をサポートするJPASSの仲介で実現した。

今後、利用者交流やビジネスマッチング、企業の日台双方への進出をサポートするほか、施設利用の優待についても検討する。

神戸空港国際化を受けた海外連携の第1弾。アンカーは年度内に、数施設・法人とのMOU締結を進めていく方針。

アンカーと嘉義文化科技創新基地とのMOU締結式＝アンカー神戸

## 海外イベント利用料 2割引き

9月までキャンペーン

海外連携強化に伴い、アンカー神戸で6～9月に開催される海外イベントに対し、利用料の20%（上限2万1千円）を割り引くキャンペーンを行う。

海外スタートアップ、企業のピッチや交流イベントなど、企業の海外進出、オープンイノベーションなどに役立つ内容が対象。国などは問わないが、内容について審査は行う。

先着10社で、すでに申し込み済みのイベントは対象外とする。

## スタートアップ紹介機能強化

アンカー神戸では、スタートアップの紹介機能を強化する。会員対象のサービスで、創業間もなく、人手が足りない企業のサポートを行う狙いがある。

サイトや施設内でスタートアップのサービスを周知し、導入を検討する企業らの「見込み顧客」をつないでいく仕組み。

このサービスで連携する5社を紹介する。この5社の紹介希望者は、下記の2次元コードから申し込む。

◀連携の5社▶

## シードテック
### デジタル人材で中小企業を強化

デジタル人材レンタルします―。アンカー神戸開設以来の連携先であるシードテック（東京）は、デジタルトランスフォーメーション（DX）や人工知能（AI）分野に精通したデジタル人材を中小企業などに送り込むサービスを始める。

同社は、プログラミングや英語を指導する海外留学やシステム開発、DX人材育成、ITコンサルティングなどを行う。アンカーでは開業時、プログラミング講座を開講していた。

デジタル人材のレンタルは、サービスや技術に強みを持つ中小企業に、DXやAIを導入することで、ビジネス成長、イノベーションを促す狙い。まずは企業のDX度合いを測り、人材活用を協議したいという。神戸出身でもある高原大輔社長(42)は「神戸の中小企業の潜在能力は高い。神戸を日本で一番DX職が根付いている地域としたい」と意気込んでいる。

企業のDX化は―。社内で打ち合わせを行う高原社長＝神戸市内

## ペアマインド
### インテリア設計 選択にAI活用

兵庫県立大学大学院生で学生起業家の船越丈寛さん(22)が立ち上げ、画像生成AI（人工知能）を用いて、インテリアの設計、選択支援サービスや、インテリア絵画の制作などを行う「ペアマインド」（神戸市）。現役学生としては初めて同大学発ベンチャーとしての認定も受けた。

インテリアの設計、選択支援サービスは、カタログにある家具などを指定すると、実際の空間の写真に瞬時に組み込める。「自分だけのカタログが手に入る」と、大手企業との契約にもこぎつけた。

インテリア絵画制作は、絵を飾りたい場所を撮影すれば、そこにふさわしい絵画をAIで作り上げる。

秋からは、米国の大学院でコンピューターサイエンスを学ぶ予定で、さらに技術に磨きをかける。「日本にいながらの留学になる。ビジネスとの両立を目指したい」と力を込める。

秋には米国留学も行う予定の船越社長＝アンカー神戸

## Unpacked
### U18の本音抽出 事業開発に活用

企業の課題をU18（18歳未満）目線で解決し、事業開発などを行う新進気鋭の「Unpacked（アンパックド）」（東京）。大学3年生の時に起業した小嶋彗史社長(27)は「会議室にはないU18世代の本音を抽出し、サービスや新規事業開発に生かせると評価を受けている」と胸を張る。

社員のネットワークなどで集めた「質の高い若者」が肝。若者をターゲットにした事業を創出したい企業などを顧客に、1日プログラム「コープタッチ」や1、2カ月のアイデアソン「みらい会議」、3カ月～1年の「みらい事業部」を展開する。

それぞれ、U18の本音を引き出すことにたけた社員が伴走する。全国展開しているが、本年度から神戸にも本格的に進出。小嶋社長は「若者との共創事業を生み出し、神戸から新しい価値を生み出していきたい」とアピールする。

U18のアイデアをサービスに―。ワークショップの会場で訴える小嶋社長＝大阪市内

## With The World
### 異文化を理解へ オンライン授業

世界67カ国、546の教育機関（国内189校、海外357校）をオンラインでつなぎ、社会問題や異文化理解についてディスカッションする授業を提供するのは「With The World（ウィズ・ザ・ワールド）」（神戸市）。大阪・関西万博でも出展するなど、知名度や注目が急速に高まっている。

五十嵐駿太社長(31)が、経済格差に関係なく国際交流できる教育環境をつくりたい、と創業した。

学校向けのオンライン授業だけでなく、企業向けには、社員と世界各国の学生が地域課題解決について討議するプログラムも提供。多様性を学ぶほか、海外マーケティングにもメリットが大きいという。また、不登校生徒らを対象とした国際交流事業も始めた。五十嵐社長は「誰もが学びを得られる越境した教育環境を世界中でつくっていきたい」と力を込める。

国際交流を学ぶ授業で高校生に指導する五十嵐社長（左）＝西宮市内

## エレクトロンヴェクシー
### ケーブルなしでスマホなど充電

無線で電気を飛ばす特許を持つエレクトロンヴェクシー（大阪市）。その技術を搭載、販売するモジュールを埋め込んだスマートテーブルでは、スマートフォンなどがケーブルなしで充電できる。

便利さに加え、かっこよさ、未来感が受け、大阪・梅田のカフェや全国のホテルなどで導入が進む。住宅・マンションやオフィス、コンビニエンスストアなどとも今後、商談を進めていく予定だ。

池内智彦社長(53)が大阪大学で学んだ技術を用いて起業した。神戸では、ナガサワ文具センターと出会い協業に発展。1コンセントで最大40台のスマホの充電ができるスマートテーブルは、兵庫県のひょうご新商品調達認定制度にも選ばれ、被災地などでの浸透を急ぐ。

「ワイヤレスな社会をつくりたい」と池内社長。用途、販路を拡大しながら、夢の実現を目指す。

特許技術を搭載したスマートテーブルでスマホを充電する池内社長＝アンカー神戸

## 新規事業を生み育てる手法学ぶ
### 7～10月、無料講座

新規事業を生み出す手法を体系的に学ぶ無料セミナーが、アンカー神戸で7～10月に開催される。未経験者でもできる、もうかる事業に育てるスキルを学ぶ。

大手から中小企業まで、2万件以上のアイデア創出に導いた、コンサルタント会社・アルファドライブ（東京）が講師。4回シリーズで同じ内容を2日間講義する。①顧客開発／仮説検証（7月2、23日）②顧客ヒアリング（8月4、20日）③プロトタイピング（9月10日、26日）④ビジネスモデル／マネタイズ（10月8、23日）。いずれも午後2～5時。

キックオフ説明会・オープンセミナーには約100人が出席し、関心の高さを伺わせた。説明会のみ、7月7日午後5時からも行い、参加者には同セミナーの録画データが付与される。

4回一括の申し込みで、欠席者にはフォローを行う。12月1日には、新規事業のアイデアを競う審査会もある。詳細はアンカー公式サイトのニュース・イベント欄から。

6月4日開催されたオープンセミナーで講義するアルファドライブの麻生社長＝アンカー神戸

## 主な法人会員（了承を得た法人のみ、順不同）

三井住友銀行、みなと銀行、関西イノベーションセンター、川崎重工業、神戸製鋼所、阪急阪神百貨店、神戸ポートピアホテル、ノーリツ、バンドー化学、白鶴酒造、新井組、和田興産、神戸デジタル・ラボ、野村證券、日本生命、カツヤマキカイ、神姫バス、神戸電鉄、吉田ピーナツ食品、ナブテスコ、アシックス、ジャム・デザイン、角南商事、ヤヱガキ醗酵技研、ナガサワ文具センター、TOA、神戸国際ステージサービス、楽天ヴィッセル神戸、神戸製鋼所ラグビーセンター、国際空手道連盟極真会館中村道場、神戸どうぶつ王国、ラジオ関西、湯～モアグループ、TMI総合法律事務所、カネミツ、阪神内燃機工業、千代田商事、井上鉄工所、大和出版印刷、オフィスグローブ、わかば経営会計、川崎青果、神戸新聞興産、タイミー、monoAItechnology、Creww、KAHMジャパン、OSTi、InnovationDojoJapan、COSY、神戸設計ルーム、汎建大阪製作所、STARCollection、三日月プランニング、セブンスターフェスティバル、PEPELABO、エレクトロンヴェクシー、SWise、アリピン、Liberaware、LAVORO、ヒューマンラボ、シードテック、SocialBridge、ZEN、omochi、あっとクリエーション、PITTAN、xCARE、イノベーション・アクセル、MIRAIBAR、うちゅう、アルファドライブ、アドリブワークス、hupodea、DIFF.、ヒトトバ、Co-Studio、CiPPo、ママクリエイターラボ、SkinNotes、ハイブリッドマーケティング、K.S.ロジャース、ペタビットマーケティング、BIGImpact、アビームコンサルティング、IDDK、AIREX、Bespo、Hinome、scale、MAPS、ミックウェア、神戸医療産業都市推進機構、神戸商工会議所、兵庫工業会、新産業創造研究機構（NIRO）、国際エメックスセンター、こうべ産業・就労支援財団、医療法人社団澪標会、神戸大学、関西学院大学、神戸学院大学、甲南大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市、兵庫県、朝来市、神戸新聞グループ